Panasonic®

取扱説明書

SD オーディオプレーヤー

品番 SV-SD950N

SD HC™

Bluetooth®

安全上のご注意
はじめに
準備
再生
Bluetooth®
ミニコンポなどと使う
パソコンで音楽転送
録音
その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(84 ～ 88 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9023-2S
F0707RE2127

“D-snap”で
音の楽しみかたが広がる

ミニコンポ
（SDステレオシステム）
から音楽を

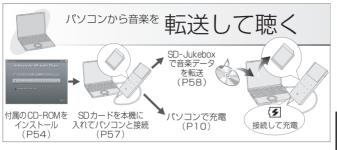
転送して聴く

音楽を転送

ドッキング転送

直接本機内のSDカードに
音楽データを転送（P48）

SC-SX950

♪ 音楽データを転送した
SDカードを本機へ

SDオーディオ規格準拠の
SDステレオシステム

詳しくはSDステレオシステムの
取扱説明書をお読みください。

外で聴く

音楽を聴く、充電する

接続して
充電（P10）

続きを家で聴く（P48、50）

パソコンから音楽を 転送して聴く

付属のCD-ROMを
インストール
（P54）

SDカードを本機に
入れてパソコンと接続
（P57）

パソコンで充電
（P10）

接続して充電

さらに 本機を楽しむ

録音する

ライン録音 ••• P60

Bluetooth® 録音 ••• P66

REC

Bluetooth® 機能を使う ••••• P28～45

オーディオ受信

他機器で再生している音楽を本機で聴く

オーディオ送信

本機で再生している音楽を他機器で聴く

ハンズフリー

携帯電話の着信を本機で受ける

SDオーディオ
録音ファイル
オーディオ受信

を聴きながら本機で着信の待ち受け

もしもし

RRR…

着信すると…

本機でお知らせ

着信中
090XXXXXXXX

もくじ

はじめに

準備

● エコ充電設定をする場合は 12 ページをお読みください。

再生　SDカードの音楽を聴く

Bluetooth®

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(84 ～ 88 ページ)

ミニコンポなどと使う

パソコンで音楽転送

録音　他機器と接続してライン録音やBluetooth® 録音する

その他

付属品

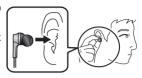
付属品をご確認ください。
記載の品番は、2007 年 7 月現在のものです。

□ SD メモリーカード（1 GB）	□ CD-ROM
□ USB 接続ケーブル (K1HY08YY0009）	□ ノイズキャンセリングインサイドホン (L0BAB0000213：付け換え用イヤーピース S、L サイズ付属)
□ D-snap port アジャスタ (RFE0206）本機に付属の D-snap port アジャスタには裏面に「Ⓐ」の刻印があります。本機を D-snap port 接続するときは、必ず付属の「Ⓐ」の刻印のあるアジャスタをお使いください。	

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 本書では、付属の SD メモリーカードを含む、本機で使用できるカード (P79) を**「SD カード」**、ノイズキャンセリングインサイドホンを**「インサイドホン」**と記載しています。

別売品のご紹介

録音用ケーブル	RP-WA100
AC アダプター	RP-AC800
本革ケース	RP-SB410
ストラップキット	RP-WA5
イヤーピース	RP-PD2
リモコン付きステレオインサイドホン	RP-HJE55
アクティブスピーカー	RP-SP350

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://www.sense.panasonic.co.jp

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/d_snap

■ インサイドホンについて

インサイドホンのL（左）とR（右）の表示を確認して耳へ装着する

- 少し回すようにすると、奥まで入れやすくなり、耳にぴったりと装着しやすくなります。
- インサイドホンを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

■ イヤーピースについて

イヤーピースが耳の穴にフィットしていないと、密閉性が低下し、低音が出ないことがあります。より良い音で聴いていただくために、耳に正しく装着してください。お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳の穴に合わない場合は、付属の S サイズや L サイズに付け換えてください。

- イヤーピースは長期の使用または保存により、劣化することがあります。このような場合は、別売のイヤーピース（RP-PD2）をお買い求めください。

◇ 取り付けるときは

- イヤーピースを取り付ける方向を確認してください。
- 回すようにして、確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、インサイドホンから外れやすくなります。

- 音楽を聴きながら歩いたりすると、ガサガサというこすれ音が聞こえることがあります。これはコードが衣服などにこすれる音で、密閉性の高いノイズキャンセリングインサイドホンのコードを伝わって聞こえる音です。故障ではありません。
- 冬場など空気が乾燥しているときは、静電気によってプチプチと異音が聞こえたり、耳元でパチッと放電することがあります。これは衣服などに帯電した静電気によるもので故障ではありません。市販の静電気防止スプレーなどを使用することで軽減することがあります。

まずお読みください

故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **付属のケーブルを使用してください。また、ケーブルは延長しないでください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。
- **お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。**
  – 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
  – 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、乾いた布を水にひたし、よく絞ってから汚れをふき、そのあと、乾いた布でふいてください。
  – 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品または SD カードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

本書内のイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図･イラスト･画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名前

1. 動作表示ランプ（赤色）
   - 充電や再生動作を表示します。（P10、17）
2. 表示パネル
   - **しばらくすると省電力のため、表示が消えます。**表示を確認するには、＋、－などの操作ボタンを押してください。
3. Bluetooth® ランプ（青色）
   - Bluetooth®モード設定中に点滅します。（P31、35）
4. 操作ボタン

▶/■　再生 / 停止

電源の入 / 切にも使用します。
入：ポンと押す
切：約 2 秒以上押したままにする

▶▶I	スキップ（とび越し）/ サーチ（早送り）
I◀◀	スキップ（とび越し）/ サーチ（早戻し）
＋　－	音量
(通話ボタン)	通話、0 番発信
(リストボタン)	プレイリスト / フォルダ選択、トラックリスト / ファイルリスト表示、通話終了
m	オーディオモード切り換え、マーク登録
nc	ノイズキャンセル / モニター機能切り換え
(Bluetoothボタン)	Bluetooth®モード切り換え

5. インサイドホン端子
   （∅3.5 mm ステレオミニジャック）
6. D-snap port 端子
7. カードふた

製造番号について
カードふたを開けた内側に製造番号が記載されています。

8. リセットボタン［RESET］
   - 電源が切れないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップなど先のとがったものを使ってRESET ボタンを押してください。
9. HOLD スイッチ［HOLD］
10. ストラップ取付部
   - 本機にはストラップ取付部が2カ所あります。D-snap port 接続する場合は、本機上部のストラップ取付部にストラップを付けてください。

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。

パソコンで充電

● パソコンを起動させておく

1 付属の USB 接続ケーブルを本機に差し込む

- 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して故障の原因になります。

2 USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

充電動作

	動作表示ランプ	充電表示
充電中	点滅 （約 2 秒間隔）	通常充電時： エコ充電時：
充電完了	点灯	

- 接続後しばらくすると表示が消えます。充電表示を確認するには、操作ボタンを押してください。
- パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モード中は充電されません。パソコンの設定を確認してから充電してください。

D-snap port 対応機器で充電

SD ステレオシステム（SC-SX950 など）や、アクティブスピーカー（RP-SP350）などと接続することで本機を充電することができます。

● 本機の電源を切っておく（P15）

1 付属のD-snap portアジャスタを取り付ける

2 本機を端子にあわせてまっすぐ奥まで装着する

- 本機を装着したとき、前後に動きますが性能的には問題ありません。

充電には通常充電とエコ充電があります。
エコ充電の設定については 12 ページをお読みください。

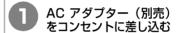
電源を切った状態での充電動作

	動作表示ランプ
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	消灯

再生時の充電動作

SC-SX950と接続時

SC-SX950以外の機器と接続時

	充電表示
充電中	通常充電時： エコ充電時：
充電完了	

- 再生中の充電では、本機の表示は点灯したままになります。
- 本機の電源が入った状態で、D-snap port 接続を外すと、本機の電源が切れます。
- 接続機器の取扱説明書もお読みください。

ACアダプター(別売)で充電

ACアダプターは必ず専用の別売ACアダプター(RP-AC800)を使用してください。

- その他のACアダプター(SV-SD800N/SV-SD400Vの付属品など)は使用できません。

1 ACアダプター(別売)をコンセントに差し込む

2 ACアダプターのケーブルを本機に差し込む

電源を切った状態での充電動作

	動作表示ランプ
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	消灯

再生時の充電動作

	充電表示
充電中	通常充電時： エコ充電時：
充電完了	

- 接続後しばらくすると表示が消えます。充電表示を確認するには、+、−などの操作ボタンを押してください。

準備

エコ充電設定をする

通常充電は 100% の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。
エコ充電は90%の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。

● お買い上げ時は「オフ」（通常充電）に設定されています。

充電時間	
通常充電時	：約 1 時間 30 分
エコ充電時	：約 2 時間

充電回数	
通常充電時	：約 500 回
エコ充電時	：通常充電の約 2 倍

1 ▶/■ を押して電源を入れる

2 m を押す

3 |◀◀、▶▶| を押してモードを SET にして、▶/■ を押す

4 +、−を押して「SYSTEM」を選び、▶/■ を押す

5 +、−を押して「エコ充電設定」を選び、▶/■ を押す

6 +、−を押して「オン」または「オフ」を選び、▶/■ を押す

– **オン**：エコ充電
– **オフ**：通常充電

● 充電式電池を上手にお使いになるには
– エコ充電設定をして充電してください。
– パソコンと本機を接続したままにしないでください。
（充電完了したときや使用しないときは、本機の接続を外してください）
– 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。
（本機を長期間使用しないで放置すると充電式電池が劣化します）
これらの使いかたにより、電池の寿命（充電回数）が長持ちします。
● 充電式電池の温度が高いまたは低いときは、充電にかかる時間が通常より長くなる場合や、充電できない場合があります。（充電温度範囲：5 ℃～ 35 ℃）
● 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。

SD カードの出し入れ

SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。（P15）

1 カードふたを開ける

2 SD カードを入れる

- ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。

3 カードふたを閉じる

◇ SDカードを取り出す

1. カードふたを開ける
2. SD カードを「カチッ」と音がするまで押す
3. まっすぐ引き出す
   - 取り出したあとは、カードふたを閉じてください。

miniSDカード/microSDカード

miniSDカードやmicroSDカードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

miniSDカード

microSDカード

- microSDカードはSDカードアダプターに直接装着してください。

下記の装着は動作保証していません。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

- SDカード以外のカードは入れないでください。
- 「カードにアクセス中です」表示中や、再生中、録音中は、SD カードを取り出さないでください。

SD オーディオを聴く
（基本操作：電源を入れる～音楽を聴く～電源を切る）

電源を入れ、SD オーディオを聴いて電源を切るまでの操作について説明します。

- ここでは、Bluetooth® モードを「Bluetooth オフ」に設定した状態で説明しています。（お買い上げ時は「Bluetooth オフ」に設定されています）

- 音楽データを転送したSDカードを本機に入れておく
（音楽の転送：P58/
SD カードを入れる：P13）
- インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく

1 ▶/■ を押して電源を入れる

SD カードに入っている SD オーディオデータと録音ファイルが多い場合、ファイル読み込み画面が表示されます。

読み込んだ SDオーディオデータと録音ファイルの総数

2 m を押す

現在のオーディオモードを表示

SD♫	SDオーディオ
♪	録音ファイル再生
REC	録音（ライン）

3 ⏮、⏭を押してモードを SD♫「SD オーディオ」にして、▶/■ を押す

SD REC SET
SDオーディオ

- お買い上げ時は「SD オーディオ」モードに設定されています。

4 ▶/■ を押して再生する

5 音量調整や再生操作をする

音量を大きくする：+ を押す
音量を小さくする：– を押す

- 「0」～「25」までの間で設定できます。
- お買い上げ時は「12」に設定されています。

再生操作

とび越し（スキップ）
⏮、⏭ をポンと押す
（曲の途中で ⏮ を押すと、その曲の先頭に戻ります。前の曲に戻る場合はもう一度 ⏮ を押してください。）

早戻し / 早送り（サーチ）
⏮、⏭ を押したままにする

- 操作後しばらくすると、省電力のため表示が消えます。表示を確認するには、+、–などの操作ボタンを押してください。

停止する

▶/■ を押す

電源を切る

▶/■を約2秒以上押したままにする

- 再生する曲 / ファイルを選択中、モード選択画面や設定モード [SET] で設定中は、電源を切ることはできません。

本機で SD オーディオ再生できる音楽データは SD オーディオ規格に準拠したもののみです。

音楽データを SD カードへ転送するときは、以下の方法で転送してください。

- **付属の SD-Jukebox で転送**
- **SDオーディオ規格準拠のSDステレオシステムなどを使って転送**

– WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機では再生できません。

– 他社製の、SDカード対応ミニコンポなどは SD オーディオ規格に準拠していない場合があります。

- 本機で録音した曲は録音ファイル再生モードで再生します。64、69 ページをお読みください。

再生

ホールド機能を使う

HOLD スイッチを［▲］の方向に切り換える

「HOLD」が表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後、かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

◇ 解除するには

HOLD スイッチを元の位置に戻す

曲を削除するには

SD-Jukebox や SD ステレオシステムで削除してください。
本機のみではSDカードに転送した曲を選んで削除することはできません。

● SD-Jukeboxで削除する場合、59ページをお読みください。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。

● SDカードの交換や、曲を追加/削除してSDカード内の情報が変更されると解除されます。
● 新曲自動転送機能搭載の SD ステレオシステムで新曲転送された場合は、レジュームは解除され、「新曲」プレイリストの 1 曲目から再生します。
● 録音した場合は、録音ファイル再生モードのレジューム機能は解除され、最後に録音したファイルが含まれるフォルダ内の 1 曲目から再生します。

オートパワーオフ

節電のため、SDオーディオモード、録音ファイル再生モードで停止状態が 1 分以上、録音モードで録音停止状態が 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

操作音

操作音が「オン」に設定されているときは（P25）音で操作をお知らせします。

ピッピッ	早送り / スキップ（▶▶I 方向）
ピッピッピッ	早戻し / スキップ（I◀◀ 方向）
ピピピッ	設定モードの項目やトラック / ファイルリスト表示などで最後（先頭）の項目を表示したあと、先頭（最後）の項目に戻る場合
ピッピー	電源を切った場合
ピッ	再生など上記以外の操作をした場合

● 「オン」に設定していても、電源を入れたときは操作音は鳴りません。

動作表示ランプ（赤色）

本機操作時

約 3 秒間隔で点滅	再生中、オーディオ受信接続中
約 1 秒間隔で点滅	フォーマット中、マーク登録中、録音中、フォルダ / ファイル削除中などの SD カード書き込み中
点灯	停止中、録音スタンバイ中、オーディオ受信待機中
消灯	電源を切ったとき

電池残量表示

表示パネルに電池の残量が表示されます。

● 点滅後、しばらくすると「電池残量がありません」と表示され、電源が切れます。

◇ 電池を消耗して電源が切れたときは

● 本機は電源を切ったときに設定を記憶します。電池を消耗して電源が切れた場合は、電源が切れる前に変更した設定は本機に記憶されません。
電池残量表示が点滅しているときは、早めに充電してください。

◇ 電池残量表示が点滅しているときは

● 以下の操作は行えません。
- カードフォーマット
- マーク登録 / 解除
- 録音
- フォルダ削除
- 1 ファイル削除

充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください。

ノイズキャンセル / モニター機能

- ▶/■を押して電源を入れておく
- 付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく

- **付属品以外のインサイドホン使用時はノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。**

ᑎC を押す

押すたびに設定が切り換わります。

ノイズキャンセル機能オフ

ノイズキャンセル機能オン

モニター機能オン

ノイズキャンセル機能オン

乗り物内での雑音を減らして、小さな音量でより明瞭に音楽を楽しめます。

- ノイズキャンセル機能は周囲の音が聞こえにくくなるため、警告音なども聞こえにくくなります。運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホームなど）では使用しないでください。

モニター機能オン

インサイドホンを付けたままでも、周囲の音を聞こえやすくすることができます。

- モニター機能オンに切り換えた場合は周囲の音を聞こえやすくするため、音量が小さくなります。（+、−を押して音量を調整できます）

- ノイズキャンセル / モニター機能を設定している場合、ノイズキャンセル機能オフよりも電池持続時間が短くなります。（P82）

付属インサイドホンのご使用について

付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでください。

- しっかり差し込まれていない場合、ノイズキャンセル / モニター機能の切り換えができなかったり、効果がなくなったりします。

ノイズキャンセル / モニター機能は付属のインサイドホンのマイクを利用します。

- インサイドホンのマイクを、手などで覆わないでください。

イヤーピースを耳に正しく装着してください。

- イヤーピースが耳の穴にフィットしていないと、十分な効果が得られません。
- 装着については 7 ページをお読みください。

再生

- 録音モード中やパソコンと接続中は、ノイズキャンセル / モニター機能は働きません。
- 再生する曲/ファイルを選択中、モード選択中は、ノイズキャンセル/モニター機能の切り換えはできません。
- モニター機能オンから、ノイズキャンセル機能オフに切り換えたときは、インサイドホンから聞こえる音が大きくなります。音量にお気をつけください。
- ノイズキャンセル機能は主に低い周波数帯域の雑音を低減するもので、高い周波数帯域の雑音に対しては効果がありません。また、すべての雑音が低減されるものではありません。効果には個人差があります。

プレイリストから再生する曲を選ぶ

SD-Jukebox などで分類された音楽リスト（プレイリスト）から聴きたい曲を選びます。

- 本書では、「アーティスト」、「50 音検索」での操作を説明しています。それ以外のプレイリストから選曲する場合も「アーティスト」と同様に操作してください。

■「アーティスト」から選曲する

- ▶/■を押して電源を入れておく

1 m を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを SD♫「SD オーディオ」にして、▶/■ を押す

3 帰 を押す

4 ⏮、⏭ を押して、オーディオ選曲項目から 👤「アーティスト」を選び、▶/■ を押す

5 ＋、－を押して、プレイリストを選び、▶/■ を押す

6 ＋、－を押して、トラックリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

- 再生画面で、帰 を約 2 秒以上押すと、選んでいるプレイリストのトラックリストを表示することができます。（帰 を数回押すか、しばらく操作をしないでいると、再生画面に戻ります）

■ オーディオ選曲項目

50 音検索

プレイリストを 50 音から検索して選べます。

- 50音検索は22ページに詳しい操作説明を記載しています。50 音検索選択時は 22 ページの手順❺へ進んでください。

ALL 全曲

すべての曲から選べます。

新曲

当社製新曲自動転送機能搭載の SD ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。

- 新曲に分類された曲がない場合は表示されません。
- 新曲プレイリスト内の曲は、転送されるたびに内容が更新されます。

マイベスト

当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

- マイベストに分類された曲がない場合は表示されません。

アーティスト

アーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム

アルバムに分類されたプレイリストから選べます。

PL ユーザープレイリスト

お客様が作成されたプレイリストから選べます。

印象

ミュージックソムリエ機能で分類されたプレイリストから選べます。
再生時、プレイリスト名表示のアイコンは以下のようになります。

：ウキウキ系　：癒し系
：ゆったり系
：その他の印象プレイリスト

マーク登録曲

本機でマーク登録した曲から選べます。マーク登録のしかたについては 27 ページをお読みください。

- 選曲中に を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- プレイリストの作りかたは、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）や SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

再生

■「50 音検索」から選曲する

「50 音検索」を選ぶと、すべてのプレイリストの中から 50 音順にプレイリストを表示して検索することができます。

- 50 音検索機能は、プレイリストを元にした検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

● ▶/■を押して電源を入れておく

1 m を押す

2 I◀◀、▶▶I を押してモードを SD♫「SD オーディオ」にして、▶/■ を押す

3 ≒ を押す

4 I◀◀、▶▶I を押して、🔍「50 音検索」を選び、▶/■ を押す

5 I◀◀、▶▶I を押して、行を選ぶ

行は、あかさたな（ひらがな）…→ABC（アルファベット）…→ etc.（数字など）の順で表示されます。

- 「あ」を選んだ場合、「あいうえお」で始まるプレイリストが表示されます。

- プレイリストが作成されていない行はとび越してプレイリストの入っている行に移動します。
- I◀◀ を押すと、ひとつ前の行を選べます。

6 +、−を押して再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押す

● +、−を押すたびに選んでいるプレイリストが変わります。

選んだ行の先頭のプレイリスト

−

選んだ行の次のプレイリスト

−

選んだ行の最後のプレイリスト

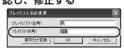
−

次の行の最初のプレイリスト

さ行、た行、な行にプレイリストがない場合は、次にプレイリストの入っている行にとび越します。

7 +、−を押してトラックリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

50 音検索は、SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄に入力された文字を元に検索します。

以下の場合は正しく検索できません。

- 「プレイリスト（半角）」欄に半角文字でプレイリストが入力されていない場合
- 「プレイリスト（半角）」欄に間違って入力されている場合

プレイリスト名を確認 / 修正する

1. SD-Jukeboxを「通常モード」で起動する（P56）
2. ［アイコン］をクリックする
3. プレイリストを右クリックして「プレイリスト名の変更」を選ぶ

4. 「プレイリスト（半角）」を確認し、修正する

5. ［OK］をクリックする

- 選曲中に ［ボタン］ を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄が空白の場合、「etc.」の行に分類されます。
- 「プレイリスト（全角）」欄に入力された文字では50音検索することはできません。

SD オーディオの再生方法や音質などを設定する

1. m を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SD♫「SDオーディオ」にして、▶/■を押す
3. m を押す
4. ⏮、⏭ を押してモードを SET「SDオーディオ設定」にして、▶/■を押す
5. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。
6. ＋、－を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

- 設定中に m を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- お買い上げ時は「※」の内容に設定されています。
- 「再生モード」「EQ」「音質効果」「表示項目」の設定は、ファイル再生設定モードと共通の設定です。

SD♫ | SD♫ | ♪ | REC | SET
SDオーディオ設定

再生モード

再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート

ノーマル※	選択したプレイリスト内の曲を再生
1 曲リピート	1 曲を繰り返し再生
全曲リピート	選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生
A-B リピート	(再生中のみ)同一曲内のA-B区間(P26)を繰り返し再生
ランダム	選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生 ●ランダム再生中は ⏮ を押して、再生し終わった曲へ戻ることはできません。
ザッピング	選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分を順に繰り返し再生(詳しくは26ページをお読みください)
イントロ再生	選択したプレイリスト内の各曲の先頭10秒間を順に繰り返し再生 ●お好みの曲をイントロ再生中に▶/■を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。

PL 連続再生

オン	オーディオ選曲項目の、アーティスト、アルバム、ユーザープレイリスト内のプレイリストをまたいで再生 ●「再生モード」の「全曲リピート」、「ランダム」、「ザッピング」、「イントロ再生」設定中もプレイリストをまたいで再生します。 ●ランダム再生に設定していても、プレイリストは順不同に選択されません。
オフ※	選択したプレイリスト内の曲のみを再生

EQ

EQ
ノーマル
S-XBS1
S-XBS2

ノーマル※	通常の音質
S-XBS1	迫力ある重低音強調
S-XBS2	S-XBS1 の効果をさらに強調
トレイン	耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防ぐ

音質効果

リ. マスター※	圧縮録音時に失われた高音域を補完する効果
P. SRD1	臨場感あふれる立体的な効果
P. SRD2	P. SRD1 をより強調
効果オフ	効果をかけない

音質効果
リ. マスター
P. SRD1
P. SRD2

● 音楽ソースによっては、雑音が入ったり効果が少ない場合があります。雑音が入る場合は「効果オフ」に設定してください。

表示項目

曲名 &PL 名※	曲名とプレイリスト名を表示
曲名 & アーティスト	曲名とアーティスト名を表示
曲名 & アルバム	曲名とアルバム名を表示
曲名 & 情報	曲名と情報（圧縮 / 伸張方式）を表示

表示項目
曲名&PL名
曲名&アーティスト
曲名&アルバム

マーク登録リセット

＋、－で「はい」を選ぶと、設定したマーク登録（P27）をすべて解除します。

● 再生する曲を「マーク登録曲」に設定して再生しているときは（P21）、「マーク登録リセット」は表示されません。

オートザッピング

（詳しくは 26 ページをお読みください）

再生開始	オートザッピング再生を開始します。
自動通知	オートザッピング再生をするかしないかの通知を設定
オン	確認画面を表示
オフ※	確認画面を表示せず、通常の SD オーディオ再生

SYSTEM

（録音設定モード、ファイル再生設定モードと共通です）

操作音	オン※	操作ボタンを押したときに音でお知らせ（詳しくは17ページをお読みください）
	オフ	操作音を鳴らさない
LANGUAGE	日本語※	日本語
	ENGLISH	英語
エコ充電設定	オン	通常充電時の 90% の充電
	オフ※	通常充電（100% の充電）

カードフォーマット（停止中のみ）

フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが失われます。
＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

設定初期化（停止中のみ）

＋、－で「はい」を選ぶと、本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

バージョン情報

本機のファームウェア（制御ソフト）バージョンを確認することができます。

再生

ザッピング再生とは

SDカードに転送した曲に含まれているサビ情報を元に、サビ部分を約20 秒間再生する機能です。

- サビ情報が含まれていない場合は、曲の先頭部分が約20秒間再生されます。

サビ情報がある場合 サビ情報がない場合

- ザッピング再生中に、▶/■ を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。
- ザッピング再生中は ⏮、⏭ を押したままにして、早戻し、早送りすることはできません。

ザッピング（再生モード）

SDオーディオ設定モードの「再生モード」で「ザッピング」に設定すると、選んでいるプレイリスト内でザッピング再生を繰り返し行います。

オートザッピング

プレイリストをまたいでザッピング再生します。

「再生開始」に設定するとオートザッピング再生が始まります。

「自動通知」の設定で、自動通知をするかしないかを選べます。

◇ オートザッピングの自動通知

「自動通知」を「オン」に設定しておくと（P25）、SD-Jukebox などで曲を追加、削除したあとや、SD カードを交換したあとに電源を入れたときに確認画面が表示されます。（SDオーディオモードに設定時）

＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

オートザッピング再生を開始します。

A-B リピート

「A」点、「B」点を設定して、設定した A-B 区間を繰り返します。

1. **再生中に「再生モード」の「A-B リピート」を選ぶ**
2. **開始点（A）で ▶/■ を押し、さらに同一曲内の終点(B)で▶/■を押す**
   - 設定する区間は1秒以上必要です。
   - 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中は、開始点（A）を設定できない場合があります。
   - 設定した区間は、スキップや停止操作をすると解除されます。

オートザッピングの再生順

新曲プレイリストをザッピング再生後、アルバムの最後のプレイリストからザッピング再生します。

各プレイリスト内では 1 曲目からザッピング再生します。全曲プレイリスト内の曲をすべて再生し終えると、停止します。

お気に入りの曲を集める（マーク登録）

マーク登録しておくと、あとから簡単に登録した曲を選曲できます。

● ▶/■を押して電源を入れておく

1 m を押す

2 |◀◀、▶▶|を押してモードを SD♫「SD オーディオ」にして、▶/■ を押す

3 マーク登録したい曲を選ぶ

4 「マーク登録しました」が表示されるまで、m を押したままにする

マーク登録
しました

再生するには

再生するプレイリストを「マーク登録曲」にしてください。（P20）

マーク登録曲を解除するには

1 マーク登録した曲（★の付いている曲）を選ぶ

2 m を押したままにする

3 ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す（5 秒以内に操作）

「マーク登録を解除しました」と表示されます。

- マーク登録をすべて解除するには、SD オーディオ設定モードで「マーク登録リセット」を選んでください。（P25）

- 再生中や停止中でもマーク登録 / 解除することができます。
- 再生中にマーク登録（または解除）した場合、停止したあとで SD カードに情報を書き込みますので、書き込みが終わるまで SD カードを取り出さないでください。（情報が更新されません）
- 最大 99 曲まで登録できます。
- 再生するプレイリストを「マーク登録曲」にしている場合（P20）マーク登録の追加はできません。
- A-B リピート中はマーク登録できません。
- ザッピング再生中や A-B リピート中、イントロ再生中はマーク登録の解除はできません。

Bluetooth® 機能（ワイヤレス機能）を使ってみよう

オーディオ送信

1 まず、機器登録が必要です

- 機器登録はオーディオ受信、ハンズフリーするときと、オーディオ送信するときでそれぞれ登録する必要があります。

オーディオ受信/ハンズフリー ●●●●● P30

オーディオ送信 ●●●●● P34

2 Bluetooth® 接続する

音楽を受信して聴く ●●●●● P32

受信した音楽をSDカードに録音する ●●● P66

携帯電話の着信を待ち受け ●●●●● P38

発信する ●●● P41

音楽を送信して聴く ●●●●● P36

オーディオモードとBluetooth® モードを同時に使用できる（できない）組み合わせ

Bluetooth® モード ／ オーディオモード	オーディオ受信	オーディオ送信	ハンズフリー	Bluetooth オフ
SDオーディオ	×	○	○	○
録音ファイル再生	×	○	○	○
録音	○※	×	×	○

○：可能
×：不可

（例えば、オーディオ受信中は、SDオーディオや録音ファイルを聴くことはできません）

※ Bluetooth® 録音はできますが、オーディオ受信中にライン録音はできません。

Bluetooth® 接続する前に

Bluetooth®（ブルートゥース）とは・・・
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。

Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

本機は下記の機種との Bluetooth® 接続の動作について保証しています。（2007 年 7 月現在）

- 携帯電話：FOMA® P904i、FOMA® P903iX、FOMA® P903iTV、FOMA® P903i、FOMA® P902iS、FOMA® P902i
- SD ステレオシステム：SC-SX950（2007 年 9 月発売予定）
- カーナビステーション：CN-HDS965TD、CN-HDS945TD、CN-HDS915TD（別途 Bluetooth® ユニット CY-BT200D が必要です）

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/d_snap

- 「FOMA」および「FOMA」ロゴは NTT ドコモの商標または登録商標です。
- 本章では、Bluetooth® 接続機器のことを「接続機器」と記載します。

- 本機を使用してBluetooth®機能を使用する際は接続機器が下記のBluetooth®バージョンに対応していることが必要です。
  - Bluetooth® 標準規格 Ver.1.1、1.2 または 2.0 + EDR
- 本機で音楽を受信したり送信するには接続機器が下記の Bluetooth® プロファイルに対応していることが必要です。
  - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機で携帯電話の通話をするには、携帯電話が下記のBluetooth®プロファイルに対応していることが必要です。
  - Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）

※ヘッドセットプロファイルには対応していません。

（2007 年 7 月現在）

- 接続機器の仕様や設定により接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 本機と接続機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入る場合があります。また、接続機器をポケットやかばんに入れた状態で本機と Bluetooth® 接続する場合、ポケットやかばんの位置、接続機器の向きによっては音が途切れたり雑音が入る場合があります。
- 本機は SCMS-T 方式で著作権保護されている A2DP の受信に対応しています。（携帯電話（FOMA® P903iTV）とオーディオ受信接続してワンセグ放送の音声を本機で聴くことができます）

「Bluetooth® 使用上のお願い」もお読みください。（P44）

オーディオ受信やハンズフリーの機器登録をする

オーディオ受信やハンズフリー接続する機器を本機に登録します。

● ▶/■を押して電源を入れておく

現在のBluetooth®モードを表示

▮((	オーディオ受信
·))	オーディオ送信
☎	ハンズフリー
	Bluetoothオフ

● お買い上げ時は「Bluetooth オフ」モードに設定されています。

2 ⏮、⏭ を押してモードを▮((「オーディオ受信」または☎「ハンズフリー」にして、▶/■を押す

● オーディオ受信とハンズフリーの両方に対応する携帯電話を機器登録する場合は、オーディオ受信モードで登録してください。

登録機器がある場合は

オーディオ受信モードの場合は受信待機画面になります。手順 ❸ へすすんでください。

受信待機画面

送信機器側から接続してください

- 設定中に Bluetooth ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- Bluetooth® 接続中は機器登録できません。
- 機器登録は 6 件まで登録できます。6 件を超えた場合は登録できませんので、登録機器を削除してください。(P42)
- 「設定初期化」をしても（P25）登録した機器は削除されません。

3 を押す

オーディオ受信	ハンズフリー
オーディオ受信＋	ハンズフリー

4 ⏮、⏭ を押してモードを SET にして、▶/■ を押す

オーディオ受信	ハンズフリー
オーディオ受信設定	ハンズフリー設定

5 ＋、−を押して「機器登録待ち」を選び、▶/■ を押す

機器登録待機画面になります。

接続機器側から
登録してください
:キャンセル

- 機器登録を途中でやめるときは を押してください。受信待機画面に戻ります。

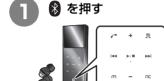
6 携帯電話など接続機器を操作して、以下の機器登録操作をする（5 分以内に操作）

1. 本機を検索し、機器名（SV-SD950N）を選ぶ
2. パスキーに数字の「0000」（本機のパスキー）を入力する

接続機器の説明書をお読みください。

- 5 分以上接続機器からの登録操作がない場合は、受信待機画面に戻ります。

パスキーとは
Bluetooth® 対応機器間で、相互に機器を認識させるために使用する番号です。
- 各メーカーにより名称が異なります。

SDステレオシステムSC-SX950と機器登録する場合は
本機と SC-SX950 を D-snap port 接続するだけで機器登録できます。詳しくは 49 ページをお読みください。

Bluetooth® ランプ（青色）

約 3 秒間隔で点滅	Bluetooth® 接続中
約 1 秒間隔で点滅	機器登録中、接続待機中、携帯電話着信時
消灯	Bluetooth®オフモード

他機器で再生している音楽を本機で聴く（オーディオ受信）

Bluetooth® 送信対応の SD ステレオシステムや携帯電話で再生している音楽を、本機で聴くことができます。

- ▶/■ を押して電源を入れておく
- 本機を録音モード以外にしておく（P14、64、69）
- 接続する機器を機器登録しておく（P30）

1 を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを「オーディオ受信」にして、▶/■ を押す

受信待機画面になります。

3 携帯電話など接続機器を操作して、Bluetooth® 接続する

接続機器の説明書をお読みください。
接続すると通信画面になります。

接続中の機器名
（接続中の機器が不明な場合は機器名は表示されません）

音量調整や再生操作をする

音量の調整は本機で操作します。

大きくする：+ を押す
小さくする：– を押す

再生操作

再生 / 停止
▶/■ を押す

とび越し（スキップ）
⏮、⏭ をポンと押す

- 早戻し / 早送り（サーチ）することはできません。

- オーディオ受信モード中にハンズフリー接続することもできます。（P39）
- 接続中に本機の電源を切った場合は、次に電源を入れると受信待機画面に戻ります。再度、受信接続操作をしてください。
- 受信待機画面が 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)
- 接続中はオートパワーオフしません。使用しないときは、▶/■ を 2 秒以上押したままにして電源を切ってください。
- 通信音声がワンセグ映像より遅れるなど、接続機器によってはBluetooth® 通信中に通信音声が実際の音声より遅れることがあります。
- 携帯電話など接続機器によっては通信開始時に頭切れすることがあります。

Bluetooth® 接続を切る

1 (Bluetoothボタン) を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを OFF「Bluetoothオフ」にして、▶/■ を押す

音量調整しても音が小さい（大きい）場合は

入力レベルを設定します。

1. (Bluetoothボタン) を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「オーディオ受信設定」にして、▶/■ を押す
3. +、−を押して「(Bluetooth)入力レベル設定」を選び、▶/■ を押す
4. +、−を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

HIGH ：携帯電話（FOMA® P904i、FOMA® P903iX、FOMA® P903iTV、FOMA® P903i）の場合
MID ：携帯電話（FOMA® P902iS、FOMA® P902i）の場合
LOW ：SD ステレオシステム（SC-SX950）の場合

最後に接続した機器への接続は

受信待機画面で ▶/■ を押すと、最後に接続した機器への接続動作を行います。接続機器側が Bluetooth® 送信待機状態の場合、通信を開始します。

「EQ」などの設定を変えるには

オーディオ受信中に「EQ」などの設定を変えることができます。

1. m を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「(オーディオ受信)設定」にして、▶/■ を押す

オーディオ受信
SD♫ | ♪ | REC | SET
設定

3. +、−を押して「EQ」を選び、▶/■ を押す
4. +、−を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

● 「EQ」のほか、以下の「SYSTEM」の項目も(オーディオ受信)設定モードで設定できます。
– 「操作音」 –「LANGUAGE」
– 「エコ充電設定」 –「バージョン情報」

簡単にオーディオ受信モードにするには

現在のモードに関係なく、停止画面で (Bluetoothボタン) を2秒以上押すとオーディオ受信モードになります。

受信した音楽を録音するには

66 ページをお読みください。

● 携帯電話と接続時は10分以上ハンズフリー通話をしたり、携帯電話側の操作により10分以上オーディオ受信した音楽が停止された場合は、オーディオ受信接続が切断される場合があります。携帯電話側を操作して再度オーディオ受信接続してください。

オーディオ送信の機器登録をする

オーディオ送信接続する機器を本機に登録します。

● ▶/■ を押して電源を入れておく

1 カーナビステーションなど接続機器を操作して、機器登録待機状態にする

接続機器の説明書をお読みください。

2 を押す

現在のBluetooth®モードを表示

▯((	オーディオ受信
·)))	オーディオ送信
☎	ハンズフリー
	Bluetoothオフ

● お買い上げ時は「Bluetooth オフ」モードに設定されています。

3 ⏮、⏭ を押してモードを ·)))「オーディオ送信」にして、▶/■ を押す

送信待機画面になります。

登録機器がある場合は

接続機器選択画面が表示されます。
を押して送信待機画面にしてから手順 ❹ へすすんでください。

4 を押す

● 設定中に を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
● Bluetooth® 接続中は機器登録できません。
● 機器登録は 6 件まで登録できます。6 件を超えた場合は登録できませんので、登録機器を削除してください。(P42)
● 「設定初期化」をしても(P25)登録した機器は削除されません。

5 |◀◀、▶▶| を押してモードを SET「オーディオ送信設定」にして、▶/■ を押す

·)))
[SET] [OFF]
オーディオ送信設定

6 ＋、－を押して「機器登録」を選び、▶/■ を押す

本機周辺にある機器登録待機状態のBluetooth® 機器を探します。

機器検索中
3 件
:検索中止

→ 機器情報取得中

- 最大 6 台まで検索します。
- 検索中に を押すと検索を中止します。中止した場合でも、中止するまでに検索した機器情報は取得します。

7 ＋、－を押して登録する機器を選び、▶/■ を押す

接続機器選択
1. SC-SX950

- 機種名は、半角文字で最大 16 文字までスクロール表示されます。

8 Bluetooth® パスキーを入力し、▶/■ を押す

パスキー入力
0000
▶/■:確定

数字入力操作

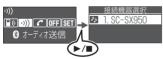
数字の選択：＋、－を押す
位の選択　：|◀◀、▶▶| を押す

- Bluetooth®パスキーについては接続機器の説明書をお読みください。

SDステレオシステムSC-SX950と機器登録する場合は

本機と SC-SX950 を D-snap port 接続するだけで機器登録できます。詳しくは 49 ページをお読みください。

Bluetooth® ランプ（青色）

約 3 秒間隔で点滅	Bluetooth® 接続中
約 1 秒間隔で点滅	機器登録中、接続待機中、携帯電話着信時
消灯	Bluetooth®オフモード

本機で再生している音楽を他機器で聴く（オーディオ送信）

本機で再生している音楽を送信して、Bluetooth® 受信対応の SD ステレオシステムやカーナビステーションを操作して聴くことができます。

- ▶/■ を押して電源を入れておく
- 接続する機器を機器登録しておく（P34）
- 接続する機器を受信待機状態にしておく

1 Bluetooth を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを「オーディオ送信」にして、▶/■ を押す

- 機種名は、半角文字で最大 16 文字までスクロール表示されます。
- 再生していた場合は停止します。

3 ＋、－を押して接続する機器を選び、▶/■ を押す

接続処理画面になり、選択した機器への接続動作になります。接続機器側が待機状態の場合、通信を開始し再生が始まります。（画面にアイコンが表示されます）

音量調整や再生操作をする

音量の調整は接続機器側で操作します。

- 再生操作（再生、停止、スキップ）は接続機器側、本機側のどちらでも操作できます。
  プレイリストの選択や早戻し/早送り（サーチ）など、上記以外の操作は本機側で操作してください。

Bluetooth® 接続を切る

1 Bluetooth を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを OFF「Bluetooth オフ」にして、▶/■ を押す

オーディオ送信モード中に設定モード SET で設定できる項目

–「再生モード」
–「PL 連続再生」※
–「表示項目」
–「マーク登録リセット」※
–「オートザッピング」※
–「SYSTEM」設定の「LANGUAGE」
–「SYSTEM」設定の「エコ充電設定」
–「SYSTEM」設定の「バージョン情報」

※ SD オーディオモードのみ

設定のしかたについては 24 ページをお読みください。

送信待機画面で ▶/■ を押すと

以下の場合に送信待機画面となります。

– オーディオ送信の機器登録完了時
– オーディオ送信が切断されて Bluetooth ボタンを押した場合
– オーディオ送信モードで電源を切って再度電源を入れた場合

送信待機画面で ▶/■ を押すと接続機器で再生するか本機で再生するかを選ぶ画面が表示されます。

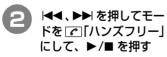
送信待機画面

＋、－を押して再生する機器を選び、▶/■ を押してください。

「Bluetooth 再接続」
接続機器で聴く場合
（手順 ❸ を行ってください）

「本機で再生」
本機で聴く場合
（Bluetooth®オフモードになります）

- オーディオ送信モード中はハンズフリー接続できません。
- オーディオ送信する場合は EQ や音質効果の効果は送信されません。
- 接続中に本機の電源を切った場合は、次に電源を入れると送信待機画面に戻ります。再度、送信接続操作をしてください。
- 送信待機画面もしくは送信接続中で停止状態が 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）
- オーディオ送信モード中は本機のインサイドホンから音や操作音は出ません。

携帯電話の通話をする（ハンズフリー）

ハンズフリー接続しておくと、本機で音楽を聴いているときに、付属のインサイドホンから携帯電話の着信をお知らせし、インサイドホンをつけたまま通話することができます。

付属品以外のインサイドホン使用時は本機を使って携帯電話の通話はできません。

- ▶/■ を押して電源を入れておく
- 付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく
- 本機を録音モード以外にしておく（P14、64、69）
- 接続する Bluetooth® 対応携帯電話を機器登録しておく（P30）

1 を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを「ハンズフリー」にして、▶/■ を押す

ハンズフリー待機画面になります。（画面にアイコンが表示されます）

3 携帯電話側を操作して、接続操作をする

携帯電話の説明書をお読みください。
接続が完了すると、ハンズフリー待機状態から、ハンズフリー接続状態になります。

- 本機の電源を切ったあと次に電源を入れたときは、を押して再接続してください。（最後に接続した携帯電話に接続します）
  – 携帯電話側の設定によっては接続できない場合があります。この場合は携帯電話側から接続してください。

ハンズフリー接続中に音楽を聴くには

– SD オーディオを聴く※ P14
– 録音ファイルを聴く※ ..... P64、69
- ハンズフリー通話中、音楽は停止します。

※ ハンズフリーモード中は、設定モード SET の「SYSTEM」の「設定初期化」「カードフォーマット」と、ファイル再生設定モードの「1 ファイル削除」は設定できません。

オーディオ受信モード中にハンズフリー接続するには

オーディオ受信モードで（P32）、携帯電話側を操作して接続すると、ハンズフリー接続できます。
（接続するとハンズフリー接続状態アイコンが表示されます）

- ハンズフリー通話中、音楽は停止します。

ハンズフリー接続したままで、オーディオモードをSDオーディオや録音ファイル再生に切り換えるには

ハンズフリーとオーディオ受信の両方を接続中に SD オーディオモードや録音ファイル再生モードに切り換えると、確認画面が表示されます。

SDオーディオモードに切り換え

録音ファイル再生モードに切り換え

＋、－で「いいえ」を選び、▶/■ を押すと、ハンズフリー接続したまま、SD オーディオや録音ファイルを聴くことができます。

- 「はい」を選ぶとハンズフリー接続は切断されます。

● 接続状態を確認するには
● 最後に接続した携帯電話に接続するには

電波状況、携帯電話の仕様や設定によって、Bluetooth® 接続状態が自動的に解除されることがあります。定期的に接続状態を確認することをおすすめします。

ハンズフリー設定中に、再生画面もしくは停止画面で を押す

- 接続されていなかった場合は、最後に接続した携帯電話への接続動作になります。接続できなかった場合は、携帯電話側から接続してください。

携帯電話の通話をする（ハンズフリー）（つづき）

電話を受ける

着信すると

電話に出るには

- 〔終話〕を押すと着信を拒否します。

- 受話音量は本機の＋、－を押して調節できます。

電話を切るには

〔終話〕を押す

通話するには

付属インサイドホンの R（右）側のマイクから通話音声を相手に送ります。

マイク（R(右) 側）

耳に装着したまま通話できます。

- 付属インサイドホン以外を使用時に、〔通話〕を押しても応答できません。

本機←→携帯電話に通話を切り換える

本機で通話するか、携帯電話で通話するかを通話中に切り換えることができます。

■ 本機→携帯電話に切り換える

通話中に「携帯電話機側で通話中です」が表示されるまで〔通話〕を押したままにする

■ 携帯電話→本機に切り換える

通話中に「通話中」が表示されるまで〔通話〕を押したままにする

↕ 〔通話〕を押したままにする

通話中
090XXXXXXXX

- 携帯電話によっては通話時の音声レベルが小さい場合があります。
- 通話中に受信音声をマイクが拾って通話相手にエコーとなって聞こえる場合があります。本機の受話音量を下げると軽減されます。

0 番発信する

接続している携帯電話のメモリーダイヤル 000 番に登録している番号へ電話をかけます。

- **▶/■ を押して電源を入れておく**
- **付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく**
- **携帯電話とハンズフリー接続しておく（P38）**

「発信中」が表示されるまで を押したままにする

相手が電話に出ると通話が始まります。

- 通話音量の調節は本機の＋、－を押して調節できます。
- ハンズフリー待機時に 0 番発信した場合は、最後にハンズフリー接続した携帯電話への接続動作になります。接続すると、携帯電話のメモリーダイヤル 000 番に登録している番号へ発信します。

メモリーダイヤル000番以外に登録している番号と本機で通話するには

1. **携帯電話側を操作して発信する**
2. **通話が始まると、本機の を「通話中」が表示されるまで押したままにして通話を切り換える**

- 携帯電話によっては、発信すると通話切り換えをしなくても直接本機で通話できる機種もあります。

Bluetooth® 接続を切る

を押す

⏮、⏭ を押してモードを OFF「Bluetooth オフ」にして、▶/■ を押す

- 携帯電話の仕様や設定により、電話番号が表示されない場合があります。
- 携帯電話の「音声読み上げ設定」を設定している場合は、着信時に音声ガイダンスが流れます。「音声読み上げ設定」機能については携帯電話の説明書をお読みください。
- 携帯電話側で電話に出た場合は、携帯電話で通話が始まります。本機での通話に切り換えるには左ページをお読みください。
- 本機は、割込通話、転送でんわサービス、留守番電話サービスなどに対応していません。これらのサービスを利用して通話する際は、通話を携帯電話機側に切り換えて（左ページ）、通話操作してください。
- 発信が中断した場合や、つながらない場合は、しばらくたってからかけ直してください。携帯電話によってはすぐにつながらない場合があります。
- 通話中はノイズキャンセル/モニター機能を設定していても働きません。

Bluetooth®の設定をする/Bluetooth®接続を切る

1. [Bluetooth] を押す
2. ⏮、⏭ を押して設定したい Bluetooth® モード（[オーディオ受信アイコン]オーディオ受信、[オーディオ送信アイコン]オーディオ送信、[ハンズフリーアイコン]ハンズフリー）を選び、▶/■ を押す
   - 「オーディオ送信」モードにした場合は、[Bluetooth] を押して送信待機画面にしてから手順 3 へすすんでください。

送信待機画面

SD ♫·))
ALL 全曲
♪つながる気持ち
1/6 0:08

3. [Bluetooth] を押す
4. ⏮、⏭ を押してモードを設定 SET にして、▶/■ を押す
5. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す

- 設定中に [Bluetooth] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 機器選択画面では、接続機器名は半角文字で最大 16 文字までスクロール表示されます。
- お買い上げ時は「※」の内容に設定されています。

機器登録待ち（オーディオ受信モード、ハンズフリーモードのみ）

機器登録時に、本機を機器登録待機状態にします。詳しくは 30 ページをお読みください。

機器登録（オーディオ送信モードのみ）

機器登録時に、本機周辺にある機器登録待機状態の接続機器を探します。詳しくは 34 ページをお読みください。

接続機器選択（オーディオ受信モード、オーディオ送信モードのみ）

＋、－で接続機器を選び、▶/■ を押すと、機器登録している機器を選んで接続することができます。

- 以下の場合は選択できません。
  - Bluetooth® 録音時
  - 登録されている機器がない場合
  - オーディオ受信、オーディオ送信接続中
- 接続機器の名前は変更できません。

登録機器削除

＋、－で登録を削除する機器を選び、▶/■ を押してください。

[♪] オーディオ受信に対応
[♪]📞 オーディオ受信とハンズフリーに対応
📞 ハンズフリーに対応
[♪(反転)] オーディオ送信に対応

オーディオ受信/ハンズフリー

機器選択
1. SC-SX950
2. P903iTV

オーディオ送信

機器選択
1. SC-SX950

確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

- 登録されている機器がない場合やBluetooth®接続中は選択できません。

入力レベル設定（オーディオ受信モードのみ）

接続機器によって入力レベルが異なります。本機で音量を調整しても音が小さい、または大きい場合は、入力レベルの設定を変えてから音量を調整してください。
＋、－でレベルを選び、▶/■ を押してください。

- **HIGH** 携帯電話（FOMA® P904i、FOMA® P903iX、FOMA® P903iTV、FOMA® P903i）の場合
- **MID** 携帯電話（FOMA® P902iS、FOMA® P902i）の場合
- **LOW**※ SD ステレオシステム（SC-SX950）の場合

通信品質設定

Bluetooth® 通信時の品質を設定します。
＋、－で設定内容を選び、▶/■ を押してください。

- **音質重視** Bluetooth® 通信中の音質を重視
- **通信品質重視**※ Bluetooth® 通信中の通信状態の安定性を重視し、通信を途切れにくくします。

- オーディオ受信モード、オーディオ送信モード、ハンズフリーモードのすべてのモードで共通して設定できます。
- 「設定初期化」をしても（P25）通信品質設定はお買い上げ時の設定に戻りません。
- 接続機器側の設定によっては、「音質重視」に設定しても「通信品質重視」で通信する場合があります。

■ Bluetooth® 接続中に設定の変更をすると、右の画面が表示されます。

Bluetooth® 接続中に設定を変更することはできません。変更する場合は、＋、－で「切断して変更」を選び、▶/■ を押してください。

接続が切れますが
変更しますか？
切断して変更
キャンセル

情報表示（登録機器）

登録した接続機器の機器名とアドレスを約 5 秒間表示します。
＋、－で情報を表示したい機器を選び、▶/■を押してください。

- 登録されている機器がない場合は選択できません。
- 情報画面の機器名は、半角文字で9文字まで表示されます。

情報表示（登録機器）
機器名：SC-SX950
アドレス： XX：XX：XX
XX：XX：XX

情報表示（自局）

本機の機器名とアドレスを約 5 秒間表示します。

Bluetooth® 接続を切る

Bluetooth® 機能を使わないときは Bluetooth® 接続を切ってください。

1. **Bluetoothボタンを押す**
2. **⏮、⏭ を押してモードを OFF「Bluetooth オフ」にして、▶/■ を押す**

Bluetooth®

Bluetooth® 使用上のお願い

◇ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

◇ 周波数表示の見かた

定格銘板は本機裏面に記載しています。

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：　松下電器産業株式会社
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター
（91 ページ参照）

◇ 機器認定

本機は、電波法および電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）
- 本機裏面記載の定格銘板を消す

◇ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth®機能対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作することはありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合があり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はお気をつけください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

◇ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

◇ 他機器からの影響

- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  - 電子レンジ / ワイヤレス LAN　約 5 m 以上
  - 電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話機 / ファクスなど　約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレスLANを約5 mの距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

◇ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ 以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。

例）原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ミニコンポ（SD ステレオシステム）などに接続する

下記対応の SD ステレオシステム（別売）やアクティブスピーカー（別売）をお持ちの場合、本機と D-snap port 接続して使用することでさらに本機の楽しみかたが広がります。

- お持ちの D-snap port 対応機器によって、楽しみかたが異なります。（2007 年 7 月現在）

	SDステレオシステム			アクティブスピーカー
	Bluetooth®/ドッキング転送機能搭載 SC-SX950 （2007年9月発売予定）	SC-PM770SD SC-NS550SD	SC-SX850 SC-SX450	RP-SP350
充電	対応	対応	対応	対応
続き再生	対応	対応	対応	対応
Bluetooth® 機能の使用	対応 ※1	対応 ※2 （D-snap port 接続時）		対応 ※2 （D-snap port 接続時）
ドッキング転送	対応			

◆ **充電**

本機と接続機器をD-snap port接続することで充電することができます。

◆ **続き再生**

本機で聴いていた音楽の続きを、D-snap port 接続して SD ステレオシステムなどの接続機器で聴くことができます。

◆ **Bluetooth® 機能の使用**

※ 1　SC-SX950 の場合

SC-SX950 の音楽を本機でオーディオ受信したり、本機の音楽を SC-SX950 にオーディオ送信できます。

- D-snap port 接続した場合、Bluetooth® オフモードになります。

※ 2　SC-PM770SD、SC-NS550SD、アクティブスピーカーの場合

本機をBluetooth®受信のレシーバーとして携帯電話などの音楽をオーディオ受信し、SD ステレオシステムなどの接続機器で聴くことができます。

- D-snap port 接続した場合、ハンズフリー接続とオーディオ送信接続は切断されます。

◆ **ドッキング転送**

SD ステレオシステムから本機内の SD カードへ、直接音楽データを転送することができます。

D-snap port 接続する

接続するときは必ず付属の D-snap portアジャスタをSDステレオシステムに取り付けてください。

● 本機の電源を切っておく(P15)

1 付属のD-snap portアジャスタを取り付ける

2 本機を端子にあわせてまっすぐ奥まで装着する

● 本機を装着したとき、前後に動きますが性能的には問題ありません。

充電する

本機と接続機器を D-snap port 接続することで充電することができます。

電源を切った状態での充電動作

	動作表示ランプ
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	消灯

再生時の充電動作

SC-SX950 と接続時

SC-SX950 以外の機器と接続時

	充電表示
充電中	通常充電時： エコ充電時：
充電完了	

● 再生中の充電では、本機の表示は点灯したままになります。

● 接続機器の取扱説明書もお読みください。

● エコ充電設定については 12 ページをお読みください。

● 本機の電源が入った状態で、D-snap port 接続を外すと、本機の電源が切れます。

ミニコンポなどと使う

ミニコンポ（SD ステレオシステム）と使う

SC-SX950 とお使いの場合

ドッキング転送機能搭載 SD ステレオシステム SC-SX950 と D-snap port 接続すると、本機内の SD カードに直接音楽を転送したり（ドッキング転送）、SC-SX950 を操作して本機内の SD カードから再生するプレイリストを選んだりすることができます。

音楽を本機に直接転送する

1 本機に SD カードを入れておく（P13）

2 モードを SD♫「SDオーディオ」にして電源を切る（P14、15）

3 D-snap port接続する

4 SC-SX950 側を操作して音楽を転送する

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

1 D-snap port接続する

2 SC-SX950 側を操作して再生する

- 本機で操作することはできません。
- 本機で設定した「EQ」「音質効果」の効果はありません。SC-SX950 で設定してください。（録音ファイル再生モードで接続した場合は「リ．マスター」の効果は解除されません）
- 「再生モード」の「ランダム」設定はSC-SX950でも引き継がれます。（あらためてプレイリスト内の曲を順不同に再生します）

- 音楽データ転送中は本機を抜かないでください。SD カードへ転送できません。また、SD カード内のデータが壊れることがあります。
- D-snap port 接続前に本機を録音モードに設定していた場合、接続すると**録音ファイル再生モード**になります。接続を外したあとは、**接続前のモード**になります。
- D-snap port 接続時は
  - 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合、「ノーマル」になります。
  - オートザッピング再生には対応していません。
  - マーク登録再生には対応していません。接続すると「全曲」再生になります。
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
- 詳しくは SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

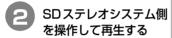
Bluetooth® 機能を使って音楽を聴く

D-snap port接続で機器登録する

本機とSC-SX950をD-snap port接続するだけで機器登録できます。（自動機器登録機能）

- 機器登録中は SC-SX950 から本機を抜かないでください。
- 最大登録機器数（6 件）を超えた場合でも登録されます。この場合、一番古い登録機器が削除されます。

2 接続を外して、Bluetooth® 機能で音楽を聴く

- オーディオ受信する場合：P32
  オーディオ送信する場合：P36

SC-SX950以外のD-snap port対応SDステレオシステムとお使いの場合

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

D-snap port接続する

SDステレオシステム側を操作して再生する

- 本機で操作することはできません。
- 本機で設定した「EQ」「音質効果」（「リ．マスター」以外）の効果はありません。SDステレオシステムで設定してください。

本機で Bluetooth® 受信（レシーバー）して音楽を聴くには

SC-PM770SD、SC-NS550SD をお使いの場合、本機を Bluetooth® 受信のレシーバーとして携帯電話などの音楽をオーディオ受信し、SD ステレオシステムで聴くことができます。

1. **オーディオ受信の機器登録をする（P30）**
2. **Ⓑ を押す**
3. **|◀◀、▶▶| を押してモードを「オーディオ受信」にして、▶/■ を押す**
4. **D-snap port 接続する**
5. **接続機器側を操作してBluetooth® 接続する**

- D-snap port接続前に本機を録音モードに設定していた場合、接続すると**録音ファイル再生モード**になります。接続を外したあとは、**接続前のモード**になります。
- D-snap port 接続時は
  - 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合、「ノーマル」になります。
  - オートザッピング再生には対応していません。
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
- 詳しくは SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

アクティブスピーカーと使う

別売アクティブスピーカー（RP-SP350）と D-snap port 接続して本機を楽しむことができます。

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

1 D-snap port接続する

2 アクティブスピーカー側を操作して再生する

- 本機で操作することもできますがBluetooth® モードの操作はできません。また、「EQ」「音質効果」「SYSTEM」設定は以下のようになります。

- 音量と「EQ」「音質効果」は、接続中に設定を変更しても、接続を外したあとは、接続前の設定になります。再度接続すると、以前接続したときの設定になります。

本機で Bluetooth® 受信（レシーバー）して音楽を聴くには

1. オーディオ受信の機器登録をする（P30）
2. Bluetoothボタン を押す
3. ⏮、⏭ を押してモードを「オーディオ受信」にして、▶/■ を押す
4. D-snap port 接続する
5. 接続機器側を操作してBluetooth® 接続する

D-snap port 接続中に設定モードで設定できる項目と内容

- D-snap port接続前に本機を録音モードに設定していた場合、接続すると**録音ファイル再生モード**になります。
- 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合、D-snap port 接続したり、接続を外すと、「ノーマル」になります。
- D-snap port 接続時は、録音できません。
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
- 詳しくはアクティブスピーカーの取扱説明書をお読みください。

付属 CD-ROM（SD-Jukebox）を使う

SD-Jukebox は、音楽 CD の曲や音楽配信サービスで購入した曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲を SD カードに書き込んで SD オーディオプレーヤーで楽しむことのできるソフトウェアです。

■ CD-ROM ソフトウェアの動作環境

対応パソコン 下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機 **対応 OS（日本語版）** Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4 Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2 Microsoft® Windows Vista™ Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate

	Windows 2000/Windows XP	Windows Vista（32 bit OS）
CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB 以上 （1 GB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 画面の解像度 800×600 ピクセル以上 (1024×768 ピクセル以上を推奨)	
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 ● Windows®のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。	
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降	
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス	
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） ● IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 ● 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。	
インターフェース	USB 端子（SD メモリーカードの接続に必要） ● USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。	
その他	インターネット接続環境 (CDDB 機能を利用する場合に必要)（ブロードバンド環境を推奨）	

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- 左ページ対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT®およびMacintoshには対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に “COMPACT disc DIGITAL AUDIO” のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

SD-Jukebox のご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukeboxは音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

SD-Jukebox をパソコンにインストールする

必ず付属のSD-Jukebox Ver. 6.8をインストールしてください。
SD-Jukebox Ver.5.x 以下をお使いの場合は、SD-Jukebox が本機を認識しません。

すでに SD-Jukebox をインストールされている方は
付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.6.8 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、手順 3 から操作してインストールしてください。
- インストールし直しても、インストール前に SD-Jukebox に取り込んだ音楽データは削除されません。

- **他に起動しているアプリケーションをすべて終了しておく**
- **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しない**

1. パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動しない場合
1. Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2. 「＊ :¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする
- ＊はCD-ROMドライブのIDです。
- 以下、画面の指示に従って続けてください。

3. 「SD-Jukebox Ver.6.8 LE のインストール」をクリックする

4. 「次へ」をクリックする

5. 「使用許諾契約」画面をよく読んで、「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックした場合はインストールできません。

6. 名前とシリアル番号を入力して、「次へ」をクリックする

シリアル番号は CD-ROM パッケージの表面に記載されています。

- **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**
- シリアル番号は必ず半角で入力してください。

7. インストール先を選び、「次へ」をクリックする

8. 音楽データ保存先を選び、「次へ」をクリックする

9. プログラムフォルダを選び、「次へ」をクリックする

- 次に表示される画面で、「はい」をクリックしておくと、再起動後、デスクトップにアイコンが表示されます。

- お気をつけいただく内容が表示されますので、よく読んで「OK」をクリックしてください。
- SD-Jukebox の紹介ムービーをご覧になる場合は、「はい」をクリックしてください。終了したら、「ご案内ムービーを終了」をクリックしてください。

10. 再起動方法を選び、「完了」をクリックして終了する

SD-Jukebox を起動する

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする

2 表示モードを選び、クリックする

通常モード

SD-Jukeboxのすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード

SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

◇ デスクトップアイコンが表示されていない場合は

Windows のスタートメニュー→
「すべてのプログラム」→
「Panasonic」→
「SD-JukeboxV6」→
「SD-JukeboxV6」
の順にクリックする

SD-Jukebox の取扱説明書(PDFファイル)について

SD-Jukeboxの取扱説明書は、PDFファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みいただくには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）を読む

Windows のスタートメニュー→
「すべてのプログラム」→
「Panasonic」→
「SD-JukeboxV6」→
「SD-JukeboxV6 取扱説明書」
の順にクリックする

パソコンに接続する

SD-Jukeboxを使って本機に入れたSDカードに音楽を取り込んだり（P58）、本機をパソコンに接続して充電することができます。（P10）

USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

- **SDカードを本機に入れておく（P13）**
- **パソコンを起動させておく**

- 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して故障の原因になります。

1 付属のUSB接続ケーブルを本機に差し込む

2 USB接続ケーブルをパソコンに差し込む

USB接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP：[ ]、Windows Vista：[ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OSの設定によっては表示されません）

データ保存機能

本機はUSBリーダーライターとしても機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。

- SDカード内の「PRIVATE」フォルダと「SD_AUDIO」フォルダは移動や削除、名前の変更をしないでください。

- 「ACCESS」表示中にSDカードやUSB接続ケーブルを抜き差しすると、SDカード内のデータが消えたり、壊れたりすることがあります。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機からUSB接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

SD-JukeboxでSDカードに音楽を転送/削除する

SD-Jukebox を使って SD カードに音楽を転送するには、まず音楽をパソコン（SD-Jukebox）に取り込んで、SD-Jukebox から SD カードへ転送してください。

パソコン（SD-Jukebox）に取り込む

- SD-Jukeboxをインストールしておく（P54）
- SD-Jukeboxを起動しておく（P56）

CDの音楽

1. 音楽CDをパソコンに入れる
2. 取り込む音楽CDのドライブを選ぶ
3. 取り込む曲に ☑（チェック）を付ける
4. [CD録音] をクリック
5. 取り込む曲の ✔（チェック）を確認する
6. [OK] をクリック

パソコン内の音楽ファイル

パソコンに保存しているWMA/MP3/AAC（MPEG4）形式をSD-Jukeboxへ取り込みます。

[ファイルインポート] をクリック

↓

パソコン内から音楽ファイルの入っているフォルダを選ぶ

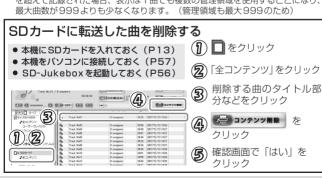
↓

[インポート] をクリック

※著作権保護された音楽データを取り込むことはできません。

2 SD-JukeboxからSDカードに転送する

- 本機にSDカードを入れておく（P13）
- 本機をパソコンに接続しておく（P57）

1. 転送する曲に ☑（チェック）
2. [SD書込み] をクリック
3. [OK] をクリック

- 本書では、SD-Jukebox の画面表示モードを「通常モード」に設定した場合で説明しています。
- SD-Jukeboxの詳しい操作説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

SD-Jukeboxでは、SDオーディオ規格上の制限のため、1枚あたりのSDカードに転送できる曲数とプレイリスト数に以下の制限があります。

曲数：最大999※　プレイリスト数：最大99　1プレイリストあたりの曲数：最大99

※ 最大曲数は999ですが、1曲の最大管理時間が約8分30秒であるため、それを超えて記録された場合、表示は1曲でも複数の管理領域を使用することになり、最大曲数が999よりも少なくなります。（管理領域も最大999のため）

SDカードに転送した曲を削除する

- 本機にSDカードを入れておく（P13）
- 本機をパソコンに接続しておく（P57）
- SD-Jukeboxを起動しておく（P56）

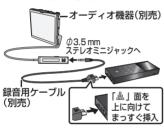
① をクリック

②「全コンテンツ」をクリック

③ 削除する曲のタイトル部分などをクリック

④ コンテンツ削除 をクリック

⑤ 確認画面で「はい」をクリック

パソコンで音楽転送

オーディオ機器からライン録音する

本機とオーディオ機器を専用の別売録音用ケーブル（RP-WA100）で接続して、本機に入れたSDカードに直接、音楽などをアナログ録音することができます。

圧縮 / 伸張方式：MP3

- 空き容量のあるSDカードを本機に入れておく（P13）
- Bluetooth® オフモードにしておく（P43）

1 本機とオーディオ機器を録音用ケーブル（別売）で接続する

2 ▶/■ を押して電源を入れる

3 m を押す

4 ⏮、⏭ を押してモードを REC「録音」にして、▶/■ を押す

録音停止画面になります。

5 録音設定をする

1. m を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「録音設定」にして、▶/■ を押す

3. ＋、－を押して「録音レベル」を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

- 設定内容については、右ページをお読みください。
- 「録音モード」「シンクロ設定」についても同様の操作で設定してください。

6 ▶/■ を押す

録音スタンバイ画面になります。

録音が始まります。

7 オーディオ機器を再生する

「オートシンクロ」「1曲シンクロ」設定時はオーディオ機器から音を検知すると録音が始まります。

8 ▶/■ を押して録音を終わる

録音モード（ビットレート設定）	※お買い上げ時の設定
HQ（128kbps）※：高音質（128 kbps）で録音 SP（96kbps）：標準の音質（96 kbps）で録音 LP（64kbps）：長時間録音に対応（64 kbps）	

録音レベル	※お買い上げ時の設定
HIGH※：ヘッドホン出力端子「🎧」から録音 MID：ラジオカセットのライン出力端子「LINE OUT」から録音 LOW：ステレオシステムのライン出力端子「LINE OUT」から録音	

設定後、オーディオ機器を再生して、録音レベルメーターが −12 dBから−4 dBの間になるように設定を変更してください。

ヘッドホン出力端子「🎧」から録音する場合は

1. 録音レベルを「HIGH」に設定する
2. オーディオ機器を再生する
3. オーディオ機器側を操作し、EQ などの音質設定や操作音などを解除する
4. 録音レベルメーターを見ながら、オーディオ機器の音量を調整する

シンクロ設定	※お買い上げ時の設定
シンクロとは、音を検知すると自動的に録音を開始し、3 秒以上の無音を検知するまでを 1 曲 /1 ファイルとして録音することです。	
オートシンクロ※：複数の曲をシンクロ録音します。10 分以上、無音が続くと録音を停止します。	
1 曲シンクロ：1 曲だけをシンクロ録音して停止します。	
マニュアル録音：録音開始から ▶/■ を押して録音を停止するまでを、1 曲として録音します。無音が多かったり、曲先頭部分の音量が小さい曲を録音するときはマニュアル録音に設定してください。	

録音中に表示を切り換える

録音中に m を押すたびに、表示が切り換わります。

- カード容量に関係なく、残り時間は最大「− 12:00:00」となります。

- インサイドホンを本機に接続すると、録音時の音を確認することができます。(本機のモニター音量を調節しても、録音レベルは変わりません)
- 残り時間が 10 分未満になると、動作表示ランプの点滅速度が速くなります。
- 録音中は、本機の表示は点灯したままになります。
- オーディオ機器の説明書もお読みください。

録音フォルダについて

◇ オートシンクロで録音時

録音停止画面から、録音を開始すると新しいフォルダに録音されます。

◇ 1 曲シンクロ、マニュアル録音で録音時

1 つのフォルダに続けて録音します。

- 以下の場合は自動的にフォルダが作成されます。
  - 「オートシンクロ」から切り換えて録音を開始した場合
  - 「099TRACK」が録音された場合

録音フォルダを削除する

1. m を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「録音設定」にして、▶/■ を押す
3. ＋、－を押して「フォルダ削除」を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－を押して削除するフォルダを選び、▶/■ を押す
5. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す
6. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

録音フォルダ名 / ファイル名について

録音した音楽は、SD カード内に「ALBUM_xx」フォルダが作成され、その中に「xxxTRACK」ファイルとして保存されます。（「x」には自動的に数字が順に割り当てられます）

- フォルダを削除すると、フォルダ内の録音したファイルもすべて削除されます。ファイルを選んで削除する場合は、65 ページをお読みください。
- 削除中に m を押すと、m を押した以降のファイルやフォルダの削除をキャンセルします。（m を押してキャンセルするまでに削除されたファイルやフォルダは元に戻すことができません）
- 削除するフォルダ内のファイル数が多いと時間がかかります。充電式電池を十分に充電してから削除してください。
- 削除したフォルダは空き番号になります。「ALBUM_99」フォルダまで割り当てられると空き番号のフォルダに録音されます。空き番号のフォルダを指定して録音することはできません。
- 録音中は SD カードを取り出さないでください。

シンクロ設定の録音例

オートシンクロ

MD1枚につき1つのフォルダで録音

1. 1枚目の録音終了後に▶/■を押して録音停止する

2. MDを入れ換えて録音操作をする

複数のMDを1つのフォルダにまとめて録音

1. 1枚目MDの録音が終わったら、録音スタンバイ画面で2枚目MDに入れ換える

2. 接続しているオーディオ機器側を操作して再生する
3. すべての録音を終了するときは本機の▶/■を押す

● 99ファイルを超えた場合は録音が停止します。▶/■を押して録音スタンバイ状態にしてから、オーディオ機器を再生すると、新しいフォルダに録音されます。

1曲シンクロ

好きな曲を集めて1つのフォルダに録音

1. 1曲を録音し終わったら接続しているオーディオ機器側を操作して停止する
2. ▶/■を押して録音スタンバイ画面にする

3. 別の曲を選び、オーディオ機器側を操作して再生する

● 99ファイルを超えるまで同じフォルダに録音されます。
新しいフォルダに録音したい場合はフォルダを作成してください。

録音フォルダの作成

1曲シンクロやマニュアル録音で録音する場合に新しいフォルダに録音することができます。

1. 録音停止画面で m を押す

2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「録音設定」にして、▶/■ を押す

3. ＋、－を押して「フォルダ作成」を選び、▶/■ を押す

4. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

録音用ケーブル（別売）の接続例

オーディオ機器側にライン出力端子「LINE OUT」がない場合は、ヘッドホン出力端子「🎧」（当社製MD プレーヤーをお使いの場合はリモコン出力端子）に接続してください。

録音

ライン録音したファイルを再生する

本機でライン録音した曲（ファイル）を再生できます。

- 本機で録音した曲の入っているSD カードを本機に入れておく
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 m を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを［♪］「録音ファイル再生」にして、▶/■ を押す

REC
SD♫ ♪ REC SET
録音ファイル再生

3 を押す

4 ＋、－を押して、再生するフォルダを選び、▶/■ を押す

録音ファイル選曲
ALL 全ファイル
ALBUM_01
ALBUM_02

5 ＋、－を押して、ファイルリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

- 再生画面で、 を約 2 秒以上押すと、選んでいるフォルダのファイルリストを表示することができます。（ を数回押すか、しばらく操作をしないでいると、再生画面に戻ります）

音量調整や再生操作をする

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：– を押す

再生操作

停止
▶/■ を押す

とび越し（スキップ）
⏮、⏭ をポンと押す
（曲の途中で ⏮ を押すと、その曲の先頭に戻ります。前の曲に戻る場合はもう一度 ⏮ を押してください。）

早戻し / 早送り（サーチ）
⏮、⏭ を押したままにする

- 再生方法などの設定は右ページをお読みください。

- WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機では再生できません。
- 選曲中に を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 録音ファイル選曲画面で「全ファイル」を選ぶと、本機で録音したすべての曲から再生したい曲を選べます。

録音したファイルを削除する/パソコンに取り込む

ファイルを削除する

1. 削除したいファイルを選んで停止する
2. m を押す
3. ⏮、⏭ を押してモードを SET「ファイル再生設定」にして、▶/■ を押す
4. ＋、－を押して「1 ファイル削除」を選び、▶/■ を押す
5. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す
6. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

● フォルダを削除する場合は録音モードにして 62 ページをお読みください。

再生方法などを設定する

ファイル再生設定モードでは以下の項目の設定ができます。

● 詳しい操作説明や設定内容はSDオーディオ設定モード（P24）をお読みください。

ファイルをパソコンに取り込む/SDオーディオデータにして聴く

録音ファイルをパソコンに取り込んでSDオーディオデータにするには SD-Jukebox を使います。

SD オーディオデータにすると・・・

● 他のSDオーディオ対応機器で再生できるようになります。
● SD-Jukeboxを使って、フォルダ名（プレイリスト名）を変更したり、ファイル名を変更することができます。

● 録音した SD カードを本機に入れておく（P13）
● 本機とパソコンを接続しておく（P57）

1. SD-Jukeboxを「通常モード」で起動する（P56）
2. ファイルインポート をクリックする
3. インポートの選択画面で、「D-snap で録音したファイルのインポート」を選び「OK」をクリックする
4. フォルダを選び、オプションを設定して、「インポート」をクリックする
5. SD-Jukebox から本機の SD カードへ転送する（P58）

● ファイルインポートする前にフォルダやファイルの名前を変更すると、ファイルインポートできません。
● 詳しい操作説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

Bluetooth® でオーディオ受信した音楽を録音する

Bluetooth® 接続でオーディオ受信した音楽を本機の SD カードにアナログ録音することができます。

圧縮 / 伸張方式：MP3

- 空き容量のある SD カードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく
- 接続する Bluetooth® 機器を機器登録しておく（P30）

1 m を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを REC「録音」にして、▶/■ を押す

オーディオ受信モード中に録音モードに設定した場合は

下の画面が表示されます。

録音方法を選択してください
Bluetooth録音
ライン録音

＋、－で録音方法を選び、▶/■ を押すと、オーディオ受信は切断されモードが切り換わります。

- Bluetooth® 録音を選んだ場合は手順 ❸ へすすんでください。
- ライン録音を選んだ場合は60ページをお読みください。

3 Bluetooth を押す

4 ⏮、⏭ を押してモードを「オーディオ受信」にして、▶/■ を押す

受信待機画面になります。

5 携帯電話など接続機器を操作して、Bluetooth® 接続する

接続機器の説明書をお読みください。接続すると通信画面になります。（画面にアイコンが表示されます）

6 入力レベルを設定する

1. Bluetooth を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「オーディオ受信設定」にして、▶/■ を押す
3. ＋、－を押して「Bluetooth 入力レベル設定」を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

- 設定内容については右ページをお読みください。

7 録音設定をする

1. m を押す
2. ⏮、⏭ を押してモードを SET「録音設定」にして、▶/■ を押す
3. ＋、－を押して「録音モード」を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

- 設定内容については右コラムをお読みください。
- **「シンクロ設定」についても同様の操作で設定してください。**（Bluetooth® 録音時は「録音レベル」の設定はできません。入力レベルで設定してください。）

8 ▶/■ を押す

「オートシンクロ」「1曲シンクロ」設定時

録音スタンバイ画面になります。

「マニュアル録音」設定時

録音が始まります。

9 接続機器側を操作して、再生する

「オートシンクロ」「1曲シンクロ」設定時は接続機器から音を検知すると録音が始まります。

10 ▶/■ を押して録音を終わる

入力レベル

HIGH：
携帯電話（FOMA® P904i、FOMA® P903iX、FOMA® P903iTV、FOMA® P903i）の場合

MID：
携帯電話（FOMA® P902iS、FOMA® P902i）の場合

LOW：
SD ステレオシステム（SC-SX950）の場合

上記をめやすに設定後、接続機器を再生して、録音レベルメーターが −12 dB から− 4 dB の間になるように設定を変更してください。

m → SET から設定

録音モード（ビットレート設定）

HQ（128kbps）：高音質（128 kbps）
SP（96kbps）：標準音質（96 kbps）
LP（64kbps）：長時間録音に対応（64 kbps）

m → SET から設定

シンクロ設定

シンクロとは、音を検知すると自動的に録音を開始し、3 秒以上の無音を検知するまでを 1 曲として録音することです。

オートシンクロ：
複数の曲をシンクロ録音します。10 分以上、無音が続くと録音を停止します。

1 曲シンクロ：
1 曲だけをシンクロ録音して停止します。

マニュアル録音：
録音開始から ▶/■ を押して録音を停止するまでを、1 ファイルとして録音します。無音が多かったり、曲先頭部分の音量が小さい曲を録音するときはマニュアル録音に設定してください。

Bluetooth® 接続を切る

1. を押す

2. ⏮、⏭ を押してモードを OFF「Bluetooth オフ」にして、▶/■ を押す

録音中に表示を切り換える

録音中に m を押すたびに、表示が切り換わります。

- カード容量に関係なく、残り時間は最大「− 12:00:00」となります。

- インサイドホンを本機に接続すると、録音時の音を確認することができます。(本機のモニター音量を調節しても、入力レベルは変わりません)
- ハンズフリー接続中に録音モードに切り換えるとハンズフリー接続が切断されます。
- Bluetooth® 録音モードのときは、本機を操作して接続機器を操作することはできません。接続機器側で操作してください。
- Bluetooth® 録音モードのときは、ライン録音モードより電池持続時間が短くなります。(P82)
- 携帯電話など接続機器によっては通信開始時に頭切れすることがあります。
- 録音設定モードでは「SYSTEM」設定の「設定初期化」はできません。
- 残り時間が10分未満になると、動作表示ランプの点滅速度が速くなります。
- 録音中は、本機の表示は点灯したままになります。
- 録音中は SD カードを取り出さないでください。
- 録音フォルダ / ファイルについては 62、63 ページをお読みください。

Bluetooth® 録音したファイルを再生する

本機で Bluetooth® 録音した曲（ファイル）を再生できます。

- 本機で録音した曲の入っている SD カードを本機に入れておく
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 m を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを［♪］「録音ファイル再生」にして、▶/■ を押す

REC
SD♬ ♪ REC SET
録音ファイル再生

3 戻 を押す

4 ＋、－を押して、再生するフォルダを選び、▶/■ を押す

録音ファイル選曲
ALL 全ファイル
ALBUM_01
ALBUM_02

5 ＋、－を押して、ファイルリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

ファイル
♪001TRACK
♪002TRACK
♪003TRACK

- 再生画面で、戻 を約 2 秒以上押すと、選んでいるフォルダのファイルリストを表示することができます。（戻 を数回押すか、しばらく操作をしないでいると、再生画面に戻ります）

■ 音量調整や再生操作をする

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：－ を押す

再生操作

停止
▶/■ を押す

とび越し（スキップ）
⏮、⏭ をポンと押す
（曲の途中で ⏮ を押すと、その曲の先頭に戻ります。前の曲に戻る場合はもう一度 ⏮ を押してください。）

早戻し / 早送り（サーチ）
⏮、⏭ を押したままにする

- WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機では再生できません。
- 選曲中に 戻 を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 録音ファイル選曲画面で「全ファイル」を選ぶと、本機で録音したすべての曲から再生したい曲を選べます。
- ファイルの削除やパソコンへの取り込み、再生方法などの設定については 65 ページをお読みください。

画面表示

SDオーディオモード

録音ファイル再生モード

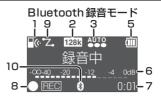
1. **モード**
2. **ノイズキャンセル / モニター機能**
   NC ：ノイズキャンセル機能オン
   ：モニター機能オン
3. **EQ**
   S-XBS1 ：S-XBS1
   S-XBS2 ：S-XBS2
   TRAIN ：トレイン
   オーディオ送信接続状態
   ：オーディオ送信接続中
4. **音質効果**
   RMTR ：リ. マスター
   P.SRD1 ：P.SRD1
   P.SRD2 ：P.SRD2
5. **再生モード**
   ：1 曲リピート
   ：全曲リピート
   ：A-B リピート
   ：ランダム
   INTRO ：イントロ再生
6. **PL 連続再生**
   ：PL 連続再生時
7. **電池残量（充電表示）**
   ：電池残量表示
   ：通常充電時
   ：エコ充電時
8. **サビ情報**
   ♪サビ ：サビ情報あり
   ♪イントロ ：サビ情報なし
9. **ザッピング / オートザッピング**
   ：ザッピング
   オート ：オートザッピング
10. **再生時間**
11. **ハンズフリー通信状態**
   ：ハンズフリー待機中
   ：ハンズフリー接続中
12. **Bluetooth® モード設定**
   ：Bluetooth®モード設定中
   表示なし ：Bluetooth® オフモード中
13. **再生 / 停止表示**
   ▶ ：再生中
   ■ ：停止中
14. **現在の曲 / 総曲数**
15. **表示項目**
   SD オーディオモード
   「曲名 & PL 名」
   「曲名 & アーティスト」
   「曲名 & アルバム」
   「曲名 & 情報」
   録音ファイル再生モード
   「曲名 & フォルダ名」
   「曲名 & 情報」
   - 表示項目が長い場合、スクロールして全体を表示したあと、先頭部分が表示されます。（全角文字と半角文字がある場合は、途中で文字が切れる場合があります）

ライン録音モード

Bluetooth録音モード

1. モード

2. 録音モード

- 128k ：HQ（128 kbps）
- 96k ：SP（96 kbps）
- 64k ：LP（64 kbps）

3. シンクロ設定

- AUTO ：オートシンクロ
- 1-SYNC ：1 曲シンクロ
- MANUAL ：マニュアル録音

4. 録音レベル

- HIGH ：HIGH
- MID ：MID
- LOW ：LOW

5. 電池残量（充電表示）

- ：電池残量表示
- ：通常充電時
- ：エコ充電時

6. 録音レベルメーター

7. 録音時間

- 0:00 ：録音経過時間
- -0:00:00 ：録音可能残り時間

8. 録音中表示

9. Bluetooth® 接続中

10. Bluetooth® モード設定

- ：Bluetooth®モード設定中
- 表示なし ：Bluetooth®オフモード中

■ こんな表示が出たら

表示	内容
カードに アクセス中です	● SD カードを抜かないでください。
HOLD	● ホールド状態です。（P16）
サポート外の フォーマットです	● Windows標準のフォーマット機能などでフォーマットした SD カードは使用できません。本機（P25）または SD-Jukebox でフォーマットしてください。
サポート外の カードです	● マルチメディアカードは使用できません。 ● SD 規格に準拠していないカードは使用できません。（P79）
カードがロック されています	● SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。書き込み禁止スイッチを元に戻してください。（P13）
パスワードでロック されています	● SDカードにパスワードがかかっていて、再生や転送ができません。パソコンでパスワードを解除してください。
Bluetooth 通信状態が 不安定です	● 使用可能距離 10 m を超えたり、他機器から影響を受けて通信が不安定になっています。接続機器に近づけてご使用ください。

画面表示（つづき）

ERROR	● エラーです。SD カードの出し入れ、電源の入 / 切で直らないときは、クリップなど、先のとがったものを使って RESET ボタンを押してください。（P9） ● Bluetooth® 接続中、電波状況によっては 10 秒間表示したあとに電源が切れる場合があります。接続先の通信状況を確認してください。
充電温度異常※	● 充電式電池の温度が極端に高いまたは低い場合は充電されません。常温に戻ってから充電し直してください。（充電温度範囲：5 ℃～ 35 ℃）それでも充電されない場合は、故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P91 ～ 93）にお問い合わせください。
電源電圧異常※	● 付属のUSB接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。 ● 指定外の AC アダプターを使用しているときは、別売の専用 AC アダプター（RP-AC800）を使用してください。それでも充電されない場合は、故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P91 ～ 93）にお問い合わせください。
電池異常※	● 故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P91 ～ 93）にお問い合わせください。
消せないファイルがありました	● 本機で録音したファイル（「xxxTRACK」）以外のファイルがあるフォルダは削除できません。エクスプローラなどでファイルの移動や名前の変更を行わないでください。
接続には機器登録が必要です	● Bluetooth® モードがオーディオ受信モードになっています。SD オーディオ再生や、録音ファイル再生する場合は Bluetooth® オフモードにしてください。（P33）
送信機器側から接続してください	
オーディオ受信切断されました **：通常画面へ**	● 電波状況や接続先操作によって本機への接続が切断されています。を押して待機画面（通常画面）に戻り、接続先の通信状況を確認してください。
オーディオ送信切断されました **：通常画面へ**	
接続を確認してください	● D-snap port 接続ができていません。本機と D-snap port アジャスタ、接続機器が正しく接続されているか確認してください。 ● D-snap port に対応していない機器と本機を接続しても使用できません。接続機器がD-snap port対応機器か確認してください。

※動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたり、水ぬれにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

電源が入らない 操作できない 電源が切れる	● ホールド状態になっていませんか？（P16） ● 電池が消耗していませんか？（P17） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P10）） ● かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？ （ホールド機能を使ってください（P16））
充電できない 充電しても再生時間が短い	● 周囲の温度が極端に高いまたは低くありませんか？ （充電式電池の温度が充電温度範囲外のときは、充電時間が通常より長くなり、充電完了しなかったり、「充電温度異常」※が表示され、充電できない場合があります。常温に戻ってから充電し直してください。（充電温度範囲：5 ℃～ 35 ℃）） ※「充電温度異常」表示とともに動作表示ランプが約0.5 秒間隔で点滅します。（「充電温度異常」表示は約10 秒間表示後、消灯します） ● パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モードになっていませんか？ ● USB ハブや延長コードを使用して充電していませんか？（付属の USB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください） ● はじめての充電や長時間未使用後の充電では再生時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ● 充電しても再生時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。充電式電池の交換は、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P91 ～ 93）にお問い合わせください。 ● SD カードによっては、再生時間が極端に短い場合があります。付属の SD カードに音楽を転送して試してください。 ● Bluetooth® モード設定時は、電池持続時間が短くなります。（P82）
本体が熱い	● 充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。

SD-Jukebox が SDカードを認識しない	● USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。 ● SD-Jukebox Ver.5.x 以下を使用していませんか？ (付属の SD-Jukebox Ver.6.8 を使用してください) ● お使いのパソコンのUSB端子は正常に動作していますか？ (他の USB 機器を接続して確認してください) ● USBハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？ (付属の USB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください) ● SDカードを認識しない場合は、付属のSDカードで試してください。 ● 著作権保護機能に対応していないUSBリーダー/ライターでは SD-Jukebox で認識できません。付属の USB 接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。
本機がSDカードを認識しない	● Windows 標準のフォーマット機能などでフォーマットしませんでしたか？ (本機 (P25) や、SD-Jukebox でフォーマットしてください) ● SDカードを認識しない場合は、付属のSDカードで試してください。
SDオーディオ再生できない	● 音楽データは SD オーディオ規格に準拠していますか？(P15) ● SD-Jukebox を使って音楽データを転送しましたか？ (WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機で再生できません)
聴こえない 音が小さい	● 音量が最小になっていませんか？ (P15) ● モニター機能オンになっていませんか？ (P18) ● インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？ (一度抜いて、再度差し込んでください) ● プラグが汚れていませんか？ ● ハンズフリー設定している場合、メールやメッセージ (R/F) を受信していませんか？ (携帯電話をお確かめください)

音が途切れる 音が飛ぶ 雑音が多い	● SD-Jukebox や録音するときに接続した機器側の音源（CD など）の音は正常ですか？ ● SD-Jukebox に取り込んだ音楽データの音は正常ですか？ ● 再生している音が正常でない場合は、付属の SD カードに音楽を転送して試してください。それでも直らない場合は、付属の SD カードを本機（P25）や、SD-Jukebox でフォーマットしてから音楽を転送すると、改善される場合があります。 ● Bluetooth® 通信中は、携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 ● Bluetooth® 通信中は、携帯電話の仕様や設定により、携帯電話操作時に音が途切れる場合があります。 ● Bluetooth®通信中の場合、Bluetooth®通信使用可能距離（約10 m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしていませんか？
マーク登録できない	● 電池残量表示が点滅していませんか？（P17） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P10）） ● 録音ファイル再生モードになっていませんか？ （マーク登録は SD オーディオモードで再生できる曲のみ登録できます） ● 曲の終端付近（約５秒間）を再生中は登録 / 解除できないことがあります。 ●「A-B リピート」に設定されていませんか？（P24）
50 音検索が正しくできない	● プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？（P23）
1 曲目から順番に再生しない	● ランダム再生になっていませんか？（P24） ● SD オーディオモードと、録音ファイル再生モードの「再生モード」設定は共通しているので、いずれかのモードで変更した設定は、他方のモードでも変更されます。 ● レジューム機能が働いていませんか？（P16） ● 選曲画面で「全曲」/「全ファイル」以外を選んでいませんか？（P21、64）

故障かな !?（つづき）

ノイズキャンセル / モニター機能が働かない	● インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？ （一度抜いて、再度差し込んでください） ● 本機は付属品以外のインサイドホンでも使用できますが、ノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。
録音できない	● 電池残量表示が点滅していませんか？（P17） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P10）） ● ライン録音の場合、専用の録音用ケーブル（RP-WA100）を接続していますか？ ● ライン録音の場合、録音用ケーブルは正しく接続されていますか？ ● SD カードが正しく認識されていますか？ （SD カードが認識されていない場合は、付属の SD カードで試してください） ● 録音中に電池残量がなくなったのではありませんか？ （電池残量が十分に残っていることを確認してから録音してください） ● Bluetooth® 録音の場合、オーディオ受信接続が切断されていませんか？
録音した音がひずむ	● ライン録音の場合、録音レベルを調整しましたか？（P61） ● Bluetooth® 録音の場合、入力レベルを調整しましたか？（P66） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合、オーディオ機器側の EQ などの音質設定は解除してから録音してください。
録音した音が小さい	● ライン録音の場合、録音レベルを調整しましたか？（P61） ● Bluetooth® 録音の場合、入力レベルを調整しましたか？（P66） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合、オーディオ機器側の音量を調整してください。
シンクロ録音が上手にできない	● 曲の先頭部分の音量が小さい場合は、録音レベルや入力レベルを調整してください。（ライン録音の場合：P61、Bluetooth® 録音の場合：P66）それでも録音できない場合は、「シンクロ設定」を「マニュアル録音」に設定してください。（P61、67） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合は、オーディオ機器側の操作音を切ってから録音してください。

機器登録できない	オーディオ受信やハンズフリーの機器登録ができない場合 ● 本機が機器登録待機画面で5分以上送信機器から登録操作がなければ、機器登録操作は解除されます。 ● 本機を「機器登録待ち」に設定してから接続機器側を操作して機器登録してください。（P31） SD ステレオシステム SC-SX950 と自動機器登録機能で機器登録できない場合 ● 電池残量表示が点滅していませんか？（P17） （充電式電池を十分に充電してから本機を抜いてください（P10））
SC-SX950 と Bluetooth® 接続できない	● SC-SX950 の状態によっては自動機器登録機能で機器登録できない場合があります。詳しくは、SC-SX950 の取扱説明書をお読みください。
接続機器選択画面で「?」が表示される	● オーディオ受信とハンズフリーのどちらのサービスに対応しているのか不明です。 （対応サービスが不明な機器に接続してください。一度接続すると次に表示したときに対応サービスが表示されます。）
機器登録済みなのに、接続できない	● オーディオ受信/ハンズフリーする場合と、オーディオ送信する場合で別々に機器登録していますか？（P30、34） ● 接続先を変更するには、一度 Bluetooth® オフモードにして接続を切ってから、接続してください。 ● 接続機器側が本機以外の機器と Bluetooth® 通信中ではありませんか？
ハンズフリー通話時、自分の声が通話相手に聞こえない	● 付属インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？ （一度抜いて、再度付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでください）
「着信中」が表示されているのに、本機の 📞 を押して通話操作ができない	● 本機は、割込通話、転送でんわサービス、留守番電話サービスなどに対応していません。通話中に割込着信などが入り、現在の通話を切ったあとにその着信を受けようとしても、本機で通話操作ができない場合があります。 その場合は、携帯電話機側で通話操作してください。

音楽データを他のパソコンに移動 / コピーできない	● SD-Jukebox や SD ステレオシステムなどから SD カードに転送した音楽データには暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。SD カードに転送した音楽データは他のパソコンに移動 / コピーすることができません。
パソコンとの接続中に、本機の「ACCESS」表示が消えない	● NTFS形式でフォーマットしたカードを本機に入れた場合、「Administrator（コンピューターの管理者）」（またはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、「(マイ）コンピュータ」から「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでから本機とパソコンの接続を解除してください。
付属の CD-ROM のインストールができない	● お使いのパソコンが CD-ROM の動作環境に対応していますか？（P52）
SD-Jukebox Ver.6.8 の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	● Adobe Acrobat Reader がお使いのパソコンにインストールされていますか？ （SD-Jukebox Ver.6.8 の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のパソコンにアドビシステムズ社のホームページ(http://www.adobe.com/jp/)から Adobe Acrobat Reader をダウンロードしてください。Adobe Acrobat Reader については、Adobe Acrobat Reader のヘルプをお読みください。）

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊されるおそれがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときは収納袋などに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

本機で使用できる SD カードは

- 本機は、SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード /miniSD カード /microSD カード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 本機はSDメモリーカード/SDHCメモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください）
- 本機では以下の容量のカードが使用できます。（パナソニックの製品を推奨）
  – SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
  – SDHC メモリーカード（4 GB）
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない 4 GB (以上) のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。パナソニックの製品をお使いになることをおすすめします。
- マルチメディアカードは使用できません。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本機を廃棄するときのお願い

本機に内蔵している充電式電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄に際しては充電式電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。充電式電池の取り出しかたについては右ページをお読みください。

- 取り出した充電式電池はお早めにリサイクル協力店へお持ちください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

	本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない 取り出した充電式電池は充電しないでください。 ● **火への投入、加熱をしない** ● **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない** ● **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない** ● **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない** ● **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない** 発熱・発火・破裂の原因になります。
警告	**取り出した充電式電池やねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする ● 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。 ● 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称：リチウムイオン（Li-ion）充電式電池
公称電圧：DC 3.7 V

充電式
リチウムイオン電池使用

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

■ 充電式電池の取り出しかた

電池を使いきってから分解してください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。（P91）

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1 本機裏面のストラップ取付部に、マイナスドライバーなどを入れ込み、外す

2 ねじを外す（2本）
- ねじを外すにはプラスドライバーをお使いください。

3 カードふたを開け、ふたの下のねじを外す（2本）

4 カードスロットに指をかけて、本機裏面を外す

5 ねじを外す（2本）

6 プリント基板ユニットを取り外し、裏返す

カードスロット

プリント基板ユニット

7 表示パネル側に指をかけ、外す

8 充電式電池を取り出す

❶ 充電式電池を起こす

❷ 3本のコードを持ち、垂直に引き抜いて、充電式電池を取り出す

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

仕様

サンプリング周波数	SD オーディオ※1：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz 録音ファイル　　：44.1 kHz
再生の 圧縮 / 伸張方式	SD オーディオ※1：AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式 録音ファイル　　：MP3 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz（＋ 0 dB ～－ 6 dB）
音声出力	3.3 mW+3.3 mW（16 Ω、6 極 ∅3.5 mm ステレオミニジャック）
電源	内蔵充電式電池：DC 3.7 V
充電時間	通常充電時　：約 1 時間 30 分 エコ充電時　：約 2 時間
電池持続時間 （通常充電時の充電）	◆SD オーディオ連続再生 ●ノイズキャンセル機能オフ　：約 60 時間 ●ノイズキャンセル / モニター機能オン：約 40 時間 ●ハンズフリー （ノイズキャンセル機能オフで着信待ち受け時）：約 30 時間 (当社製の SD カード、ノイズキャンセリングインサイドホン使用時、EQ「ノーマル」、音質効果「効果オフ」、ビットレート 96 kbps の AAC 再生時) ◆ライン録音：約 12 時間(ビットレート96 kbpsで録音時) ◆Bluetooth® オーディオ連続受信 ●ノイズキャンセル機能オフ　：約 10 時間 ●ノイズキャンセル / モニター機能オン：約　8 時間 ◆Bluetooth® オーディオ連続送信　：約 12 時間 ◆Bluetooth® 録音　：約　6 時間 (ビットレート 96 kbps で録音時) エコ充電設定時に充電した場合の電池持続時間は通常充電時の 90% の時間となります。
ライン入力端子	入力インピーダンス：27 kΩ 入力レベル：HIGH　0.35 V/MID　0.7 V/LOW　2.0 V
ノイズキャンセル効果	83% カット（300 Hz にて）
対応 USB	USB 2.0（High Speed）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
充電温度範囲	5 ℃～ 35 ℃
本体寸法	幅 35.0 mm ×高さ 90.7 mm ×奥行き 11.4 mm（突起部除く）
最大外形寸法	幅 35.0 mm ×高さ 91.3 mm ×奥行き 12.3 mm（JEITA）
質量	約 38 g
対応記録メディア	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB）

Bluetooth®

バージョン	Bluetooth® Ver.2.0 + EDR
送信出力	Class2（2.5 mW）
見通し通信距離	約 10 m （FOMA® P903iTV を使用し、温度 25 ℃、高さ 1.2 m、FOMA® P903iTV を開いて、ヒンジ部と本機裏面を外側に配置したときの条件で測定。使用条件などにより異なる場合があります。）
対応プロファイル	音楽：A2DP（送受信対応、受信：SCMS-T 対応）、 AVRCP（送受信対応） 通話：HFP
通信方式	2.4 GHz 帯　FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
認証 QDID	B012962

録音フォーマット

圧縮 / 伸張方式	MP3 方式	**録音チャンネル**	2 ch ステレオ
サンプリング周波数	44.1 kHz	**ビットレート**	64 kbps、96 kbps、128 kbps

録音時間の目安

SD カード容量 ＼ 録音モード	HQ（128kbps）	SP（96kbps）	LP（64kbps）
128 MB	約2時間10分	約2時間53分	約4時間20分
256 MB	約4時間14分	約5時間38分	約8時間28分
512 MB	約8時間23分	約11時間11分	約16時間47分
1 GB	約16時間47分	約22時間23分	約33時間34分
2 GB	約34時間8分	約45時間31分	約68時間17分
4 GB	約66時間29分	約88時間39分	約132時間59分

- カード容量や電源に関係なく、連続録音は1ファイルあたり最大12時間です。
- SDカードに音楽ファイルなどのデータが入っている場合は、録音時間は短くなります。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。（表示できない文字は「_」と表示されます）
  表示可能文字　　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※2には対応していません）

※1 対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

※2 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

本機は充電式電池を内蔵しています
火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

分解禁止

分解・改造をしない

（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

乗り物を運転中に操作したり、ハンズフリー機能を使わない
また、運転中にノイズキャンセリングインサイドホンで使わない

事故の原因になることがあります。

付属のインサイドホンは周囲の音が聞こえにくくなるタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。特に、踏切や横断歩道などではご注意ください。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

反射光を人に当てない

本機の表面は鏡面仕上げになっており、直射日光などの強い光の下では、反射光が乗り物を運転中の人の目に入り、思わぬ事故を引き起こします。

- 本機の反射光に注意してお使いください。

⚠警告

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くではBluetooth® オフモードにする

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では Bluetooth® オフモードにする

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以内ではBluetooth® オフモードにする

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠警告

航空機内ではBluetooth® オフモードにする

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、Bluetooth® オフモードにする

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

ノイズキャンセリングインサイドホン使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
突然大きな音が出ますので、操作する前には、音量を小さくしてください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

ノイズキャンセリングインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターを使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- microSD ロゴは商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vista™は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Intel、PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com
  Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000–2007 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000–2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。
  Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。
  Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：
お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD オーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD オーディオプレーヤー
品　番	SV-SD950N
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011		

東北地区

青森 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	**岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市外旭川字小谷地3-1 ☎(018)868-7008	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	**千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城 つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	**静岡** 静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎(054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	**愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**三重** 津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近 畿 地 区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0507

さくいん

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SV-SD950N
販売店名	☎ (　　)		
お客様相談窓口	☎ (　　)		

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口はP92、93をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のP90をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.

持込修理

Panasonic

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-SD950N
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間** （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　　　様 電　話　（　　）　ー
※販売店	住所・氏名 電話　（　　）　ー

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL(06)6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。